

調 査 書 記 入 の 手 引

A 生 徒

「平成・令和」は、どちらか一方を二重線で消すこと。

「卒業見込み・卒業」は、どちらか一方を二重線で消すこと。

※ 校務支援システム等の関係で、二重線を引くことができない場合は、どちらか一方を削除する。

B 出 欠 ・ 健 康 の 記 録

- 1 卒業見込者の第3学年の出席状況は、前期選抜では令和5年(2023年)12月15日(金)、後期選抜では令和6年(2024年)1月19日(金)までの日数を記入すること。
- 2 欠席日数は、出席しなければならない日数(出席停止や忌引等、校長が出席しなくてもよいと認めた日の日数を除いた数)のうちで、欠席した日数を記入すること。
- 3 備考欄には、病欠、事故欠等の主な理由、早退、遅刻の状況や事情等を記入すること。また、第3学年については、1に定めた期日を記入すること。
- 4 健康の状況欄には、高等学校の修学に堪えるかどうかの判断を記入すること。

C 各 教 科 の 学 習 の 記 録

- 1 評定は、第1学年及び第2学年は、指導要録記載の必修教科(共通履修としての英語を含む。)の評定を転記する。
第3学年については、第1の5の(2)に規定するところにより記入すること。
また、目標に準拠した評価による評定が不可能な生徒の当該教科の学習成績については、評定欄を空欄にせずに「*」を記入すること。
- 2 備考欄には、次のような事項を記入すること。
 - (1) 教科、学年による著しい差異に説明を要する事項
 - (2) 健康状況、体力及び身体上の障がいによって学習に影響が及んでいると思われる事項
 - (3) 志願者が目標に準拠した評価による評定が不可能な生徒である場合の説明事項
 - (4) その他特に説明を要する事項
- 3 中学校卒業後の学習の状況の欄には、過年度卒業生(高等学校を最終在籍校とする者を除く。)について、学習、進歩の状況等の観点から卒業後の学習の状況を記入すること。

D 総 合 的 な 学 習 の 時 間 の 記 録

総合的な学習の時間の主な学習活動や評価等を記入し、該当する学年を括弧書きで付記すること。

E 特別活動の記録

学級活動、生徒会活動及び学校行事の活動状況について、主な事実を記入し、該当する学年を括弧書きで付記すること。

F 行動の記録

第3学年について、掲げられた項目ごとにその趣旨に照らして十分満足できる状況にあると判断される場合に○印を記入すること。

G 総合所見及び指導上参考となる諸事項

CからFまでの記録のほか、進路指導に関する事項、スポーツ活動・文化活動・社会活動・ボランティア活動等の記録に関する事項、指導上参考となる事項及び生徒の成長にかかわる総合的な所見を記入すること。

H その他

- 1 学習成績一覧表番号欄には、学習成績一覧表の該当する番号を記入すること。
- 2 記載事項のない欄には「なし」と記入するか、斜線を引くこと。
- 3 調査書の記入は、その信頼性及び客観性を高めるため、特に正確を期すること。